

コラム ロータリ除雪車対応型アタッチメント式路面清掃装置全建賞受賞

寒地機械技術チームが開発した「ロータリ除雪車対応型アタッチメント式路面清掃装置」が、平成 25 年度全建賞（主催：一般社団法人全日本建設技術協会）を平成 26 年 6 月 27 日に受賞しました（写真-1）。

道路の維持管理費は、近年の公共事業費の縮減により、一層の経費縮減が求められています。このことから、非降雪期に使用する維持機械（路面清掃車、草刈車など）と降雪期に使用する除雪機械（除雪トラック、ロータリ除雪車など）が各々半年程度しか稼働していないことに着目し、維持管理費のうち機械に係わる経費（購入費、整備費、管理費）の縮減を図ることを目的に、ロータリ除雪車を通年活用して非降雪期には路面清掃車の機能を兼用させるアタッチメント式の装置を開発しました（写真-2）。

本装置の清掃幅やホップ容量などの主要な性能は、ブラシ式路面清掃車（専用車）と同程度に、装着対象となるロータリ除雪車の規格は、国や自治体などで最も多く保有されている 2.2m 級として設計しました。

本装置の導入により、現行の路面清掃車とロータリ除雪車の 2 台から、ロータリ除雪車 1 台と本装置 1 台での運用が可能になります。購入費は、路面清掃車から本装置への更新では約 50%縮減、ロータリ除雪車とセットでの更新では約 25%縮減となります。また、機械の維持的経費である整備費と管理費も同様に縮減となります。

本装置は、平成 24 年に国土交通省北海道開発局の滝川道路事務所に 1 台、平成 25 年には同局の旭川道路事務所に 1 台導入されました。

平成 25 年度に実施した滝川道路事務所での追跡調査では、導入工区の通年工事費における機械の運転費についても、従来と比較して約 6%減額となり、工事費縮減効果が確認されました。



写真-1 全建賞記念盾



写真-2 開発した路面清掃装置